

みずほCustomer Desk Report 2023/01/27号 (As of 2023/01/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	129.27
TKY 9:00AM	129.25	1.0920	141.22	GBP/USD	1.2416
SYD-NY High	130.62	1.0929	141.90	AUD/USD	0.7108
SYD-NY Low	129.02	1.0850	140.88		
NY 5:00 PM	130.22	1.0891	141.81		
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,949.41	205.57	日本2年債	▲0.0100%	0.0000%
NASDAQ	11,512.41	199.06	日本10年債	0.4600%	0.0300%
S&P	4,060.43	44.21	米国2年債	4.1878%	0.0556%
日経平均	27,362.75	▲ 32.26	米国5年債	3.6007%	0.0467%
TOPIX	1,978.40	▲ 2.29	米国10年債	3.5048%	0.0550%
シカゴ日経先物	27,540.00	105.00	独10年債	2.2130%	0.0555%
ロンドンFT	7,761.11	16.24	英10年債	3.3090%	0.0695%
DAX	15,132.85	51.21	豪10年債	3.4880%	▲0.0110%
ハンセン指数	22,566.78	522.13	USDJPY 1M Vol	12.84%	0.20%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	12.89%	0.25%
NY金	1,930.00	▲ 12.60	USDJPY 6M Vol	12.21%	0.14%
WTI	81.01	0.86	USDJPY 1M 25RR	▲0.89%	Yen Call Over
CRB指数	279.55	2.07	EURJPY 3M Vol	12.21%	0.14%
ドルインデックス	101.84	0.20	EURJPY 6M Vol	11.97%	0.09%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月26日	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	12月 -0.49	-
	22:30	米 GDP(年率/前期比)	4Q A 2.9%	2.6%
	22:30	米 個人消費	4Q A 2.1%	2.9%
	22:30	米 コアPCE(前期比)	4Q A 3.9%	3.9%
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	12月 0.1%	0.5%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	21-Jan 186k	205k
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	12月 5.6%	2.5%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	12月 -0.1%	-0.2%
1月27日	00:00	米 新築住宅販売件数	12月 616k	612k

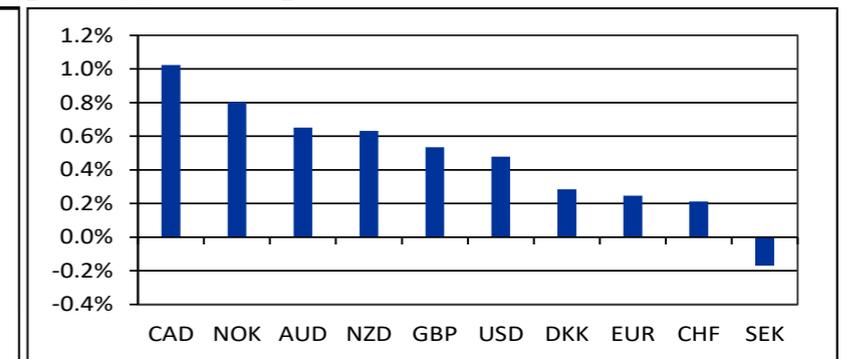
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月27日	22:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	12月 0%/5%	0.1%/5.5%
	22:30	米 個人所得(前月比)	12月 0.2%	0.4%
	22:30	米 個人支出(前月比)	12月 -0.1%	0.1%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	129.10-130.70	1.0840-1.0960	140.50-142.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は海外時間に130.62まで上昇し、僅かながら前日高値を上回る内容となった。東京時間129.25レベルでオープンしたドル円は、前日海外時間のドル売りの流れを引き継ぎ上値の重い走り出しとなり、仲値後には129.10レベルまで下落。正午にかけて129.59まで上昇する場面があるも、この日のシドニー時間の高値レベルで買い戻しも一巡。その後本邦国債利回りが上昇する動きを横目に円買いが優勢となりドル円は129.02まで下落する展開となった。もともと、129円ちょうど付近での確りとした押し目にサポートされ即座に129.30台に水準を戻すと、海外時間入り後にもドル買い戻しの流れにドル円は130円ちょうどまで一段上昇し、その後も米4QGDP(速報値)や米12月耐久財受注、新規失業保険申請件数等の米国経済指標の良好な結果を好感しドル買いが進み130.62と日通し高値を更新する内容となった。

本日ドル円については上値の重い展開を想定。昨日ドル円相場は上昇するも、前日進んだ過度なドル売りの流れを戻したに過ぎず依然方向感はずみならず。今週の推移を見つめても130円台での対空時間は短く、来週のFOMCを控えてドル円下落への警戒感根強いものと考え。本日も米12月PCEコアデフレーターやミシガン大消費者マインド等米国経済指標の発表が相次ぐ為、海外時間の荒い値動きに注意しつつも上値余地は限定的なものと想定。

東京	東京時間のドル円は129.25レベルでオープン。米GDPや来週にFOMCを控えていることもあり動意乏しい値動き。正午ごろに129.59をつけた後は反落したが、129円付近では買い戻され、結局、129.38レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は129.38レベルでオープンし、全般的なドル買いを受けて上昇。129.76レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場ではドルが買われる動きに、ドル円はじり高で推移し129.76レベルでNYオープン。朝方は米第4四半期GDP速報値が予想を上回り、同時に発表された新規失業保険申請件数が20万件を下回り、12月耐久財受注も予想を上回ったことから、瞬時130.39まで急伸するが、構成項目の個人消費が予想を下回ったことが材料視され、一旦129.72まで下落する。しかし、一旦下落した米金利が上昇する動きや、続いて発表の米12月新築住宅販売件数が予想を上回ったことから、130.62まで戻す。午後は米7年債入札結果が良好であったことからドル売りが優勢となるが、終盤は株式市場が堅調に推移する動きに円が売られ、130.20付近での推移が続き、130.22レベルでクローズした。一方、ユーロドルは、海外市場でドル買いが優勢となったことからじり安で推移し、1.0893レベルでNYオープン。朝方は米GDP結果を受けドル買いに1.0873まで反落するが、すぐドルが売り返されたことから1.0917まで戻す。しかしドル売り一巡後は米金利上昇を受けたドル買いに、ユーロドルは1.0850まで反落する。午後は米7年債入札結果を受けたドル売りにユーロドルはじり高で推移し、1.0891レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・大橋